平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 トラスコ中山株式会社　　上場取引所　東
コード番号 9830　URL http://www.trusco.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中山 哲也
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経営管理本部長　(氏名) 藪野 忠久　TEL 03-6435-6618

四半期報告書提出予定日　平成26年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,980	6.7	6,782	12.1	6,779	12.8	4,063	18.5
25年3月期第3四半期	97,463	3.5	6,052	7.3	6,011	7.0	3,428	38.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	123.23	―
25年3月期第3四半期	103.96	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	101,900	85,198	83.6
25年3月期	100,032	82,283	82.3

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　85,198百万円　25年3月期　82,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	16.50	―	20.50	37.00
26年3月期	―	18.50	―		
26年3月期(予想)				26.00	44.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,300	6.8	9,800	17.3	9,750	17.3	5,818	20.8	176.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②①以外の会計方針の変更	：	無
③会計上の見積りの変更	：	無
④修正再表示	：	無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	33,004,372 株	25年3月期	33,004,372 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	26,292 株	25年3月期	24,680 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	32,979,017 株	25年3月期3Q	32,979,988 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）経営成績に関する説明……２
（２）財政状態に関する説明……３
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明……４

２．四半期財務諸表……５

（１）四半期貸借対照表……５
（２）四半期損益計算書……７
（３）四半期財務諸表に関する注記事項……８
（継続企業の前提に関する注記）……８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）……８
（セグメント情報等）……８

※ 当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、決算短信発表後、速やかに当社ホームページ（http://www.trusco.co.jp/）に掲載する予定です。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

①当第３四半期累計期間の経営成績

	金額	前年同四半期増減率
売　上　高	103,980百万円	6.7％
営 業 利 益	6,782百万円	12.1％
経 常 利 益	6,779百万円	12.8％
四半期純利益	4,063百万円	18.5％

当第３四半期累計期間（平成25年４月１日～平成25年12月31日）における我が国経済は、海外景気の下振れがリスクとして残るものの、国内消費の高まりや輸出環境の改善を背景に穏やかな回復の動きが見られました。

国内製造業を中心としたモノづくり現場においては、自動車を含む輸送機器の輸出向け生産及び国内販売が堅調に推移したことを背景に、鉄鋼や化学の分野についても底堅く推移し、企業の設備投資の持ち直しもあり製造業全体において業況が改善しました。

このような環境下で当社は、モノづくり現場で必要とされる“**PRO TOOL**”のニーズを的確に把握し取扱いを拡大するとともに、多様化するお客様に対して即納可能な商品を取り揃えることにより市場における存在価値を高める活動を実施しました。

その結果、当第３四半期累計期間における全体の売上高は1,039億80百万円（前年同四半期比6.7％増）となりました。

利益面につきましては、おしなべて全ての商品カテゴリーにおいて売上が増加したことにより、売上総利益率は前年同四半期と同様の20.4％を維持し、売上総利益は12億66百万円増加の211億65百万円（前年同四半期比6.4％増）となりました。

販売費及び一般管理費は、当事業年度において前事業年度の当期純利益を超えることを条件に、支給を予定している業績連動型賞与及びそれに伴う社会保険料の当第３四半期累計期間の見積額３億35百万円を計上し、賞与引当金繰入額及び福利厚生費が増加した影響等により143億82百万円（前年同四半期比3.9％増）となりました。なお、当該賞与及び保険料は各セグメントに配分した上で、セグメントごとの利益又は損失の金額を算出しています。

以上の結果により、営業利益は67億82百万円（前年同四半期比12.1％増）、経常利益は67億79百万円（前年同四半期比12.8％増）となり、四半期純利益は40億63百万円（前年同四半期比18.5％増）となりました。

②ルート別売上高の状況

	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	
	金　額	構成比
	百万円	%
ファクトリールート	93,938	90.3
ホームセンタールート	8,680	8.4
その他	1,361	1.3
合計	103,980	100.0

1)ファクトリールート(製造業、建設関連業等向け卸売)

国内製造業における生産活動は、全体的に増加傾向で推移しました。さらに国内設備投資においても、製造業・非製造業とも大企業のみならず中堅・中小企業においても改善の動きが見られました。このような環境下で在庫・物流・電子商取引を含む受発注システムなどの当社に優位性のある機能を活用し、モノづくり現場のニーズに対して正確かつ迅速に商品供給を行うことにより、お客様の利便性向上につながる活動に取り組みました。

その結果、売上高は939億38百万円（前年同四半期比7.0%増）、経常利益は66億５百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

2)ホームセンタールート(ホームセンター向け販売)

プライベート・ブランド商品を含む“**PRO TOOL**”を中心に取扱アイテムの幅広さ等の強みを活かした営業活動を実施しました。また、ホームセンターの継続的な売場面積の増加も商品出荷の増加に寄与しました。

その結果、売上高は86億80百万円（前年同四半期比1.8%増）、経常利益は72百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

3)その他

当社は、「ファクトリールート」及び「ホームセンタールート」に含まれない通販企業向け販売等を「その他」に含めています。通販企業等へ当社の物流機能や幅広い取扱アイテムの浸透を行い、売上拡大を図りました。

その結果、売上高は13億61百万円（前年同四半期比19.6%増）、経常利益は68百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。

なお、業績連動型賞与及びそれに伴う社会保険料の見積額は、各ルートの給与額を基準に配分しており、経常利益に与える影響は、ファクトリールート３億２百万円、ホームセンタールート29百万円、その他３百万円です。

(2)財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ18億68百万円増加の1,019億円（前事業年度末比1.9%増）となりました。その主な要因は、商品が６億76百万円、建物が６億88百万円、建設仮勘定が９億57

百万円、ソフトウエアが５億10百万円それぞれ増加し、現金及び預金が８億12百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ10億46百万円減少の167億２百万円（前事業年度末比5.9％減）となりました。その主な要因は、未払金が４億63百万円、未払法人税等が８億28百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ29億14百万円増加の851億98百万円（前事業年度末比3.5％増）となりました。その主な要因は、利益剰余金が四半期純利益40億63百万円の計上により増加し、前事業年度の期末配当金及び当事業年度の中間配当金12億86百万円の支払により減少したことによるものです。なお、自己資本比率は前事業年度末の82.3％から83.6％となり、前事業年度末に比べ1.3％の増加となりました。

なお、平成25年９月20日開催の取締役会決議により、42億10百万円の配当平均積立金（利益剰余金）を取り崩し、同額の別途積立金（利益剰余金）を積み立てています。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月７日発表の数値に変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,899	11,086
売掛金	18,723	18,622
商品	20,224	20,901
繰延税金資産	829	734
その他	371	553
貸倒引当金	△10	△1
流動資産合計	52,038	51,897
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,482	16,170
工具、器具及び備品（純額）	472	492
土地	25,482	25,763
建設仮勘定	1,974	2,931
その他（純額）	674	648
有形固定資産合計	44,085	46,006
無形固定資産		
ソフトウエア	1,582	2,093
その他	331	41
無形固定資産合計	1,914	2,134
投資その他の資産		
投資有価証券	1,112	1,230
その他	893	640
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	1,994	1,861
固定資産合計	47,994	50,003
資産合計	100,032	101,900

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,966	10,730
未払金	1,811	1,348
未払費用	151	144
未払法人税等	1,702	874
賞与引当金	744	946
役員賞与引当金	―	70
その他	193	376
流動負債合計	15,571	14,491
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	219	215
役員退職慰労引当金	166	166
その他	1,791	1,828
固定負債合計	2,177	2,210
負債合計	17,748	16,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,709	4,709
利益剰余金	73,631	76,416
自己株式	△45	△48
株主資本合計	83,318	86,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216	356
土地再評価差額金	△1,250	△1,257
評価・換算差額等合計	△1,034	△900
純資産合計	82,283	85,198
負債純資産合計	100,032	101,900

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	97,463	103,980
売上原価	77,565	82,815
売上総利益	19,898	21,165
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,085	2,293
役員報酬	195	193
給料及び賞与	5,312	5,487
賞与引当金繰入額	642	946
福利厚生費	1,036	1,151
通信費	207	212
減価償却費	1,222	1,259
借地借家料	355	337
その他	2,787	2,501
販売費及び一般管理費合計	13,845	14,382
営業利益	6,052	6,782
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	14	16
仕入割引	919	936
その他	190	205
営業外収益合計	1,128	1,164
営業外費用		
売上割引	1,017	1,041
その他	153	126
営業外費用合計	1,170	1,167
経常利益	6,011	6,779
特別損失		
固定資産除却損	120	12
減損損失	84	36
投資有価証券評価損	25	－
特別損失合計	229	48
税引前四半期純利益	5,781	6,730
法人税、住民税及び事業税	2,115	2,386
法人税等調整額	237	281
法人税等合計	2,352	2,667
四半期純利益	3,428	4,063

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	87,800	8,524	96,325	1,138	97,463	－	97,463
セグメント利益(注)２	5,823	65	5,888	99	5,988	22	6,011

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益」の調整額22百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第３四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	93,938	8,680	102,619	1,361	103,980	－	103,980
セグメント利益(注)２	6,605	72	6,677	68	6,746	32	6,779

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益」の調整額32百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。